

九州大学基幹教育奨励賞（奨学金）

【概要】

九州大学の学部教育における基幹教育において、特に優れた成績を修めた学生を顕彰することにより、その学修意欲を高め、もってアクティブ・ラーナーとして生涯学び続ける心構えを持ち、自ら新たな知を創造し再構築し続ける先駆者人材の育成に資するため、平成27年度に「九州大学基幹教育奨励賞」を創設しました。

学部1年次に履修した基幹教育科目の成績が特に優れている学生50名（令和2年度以降入学者は既修得単位認定者を除く）を「九州大学基幹教育奨励賞」の受賞者として総長が決定して表彰します。受賞者には国内外での学修活動を支援するため、一人当たり35万円の奨学金を支給します。なお、奨学金を受ける際に学修活動計画書を、3年次終了時に活動報告書を提出していただきます。

【実施スケジュール（2年次）】

7月中旬 受賞者決定

7月下旬又は8月上旬 授与式開催

8月下旬 学修活動計画書の提出

【令和2年度授与式】

令和2年度の授与式については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年7月1日に表彰状の送付をもって授与式に代えることとしました。

受賞者名簿（平成27～令和2年度）

（参考）

【令和元年度授与式】

令和元年7月29日に病院キャンパス、8月7日に伊都キャンパスにおいて、令和元年度九州大学基幹教育奨励賞授与式を挙行了しました。

丸野理事・副学長（教育担当）から表彰状を授与された受賞者からは、「2000人を超える同級生の中から表

彰されたことを誇りに思って、これからの学修活動に取り組んでいきたいと思えます。」「基幹教育奨励賞の意義をよく理解して、学修活動を立てたいと思う。」などの意見があり、受賞者の先輩からのメッセージとして、研究を深める活動などを聞いて、受賞の喜びや今後の学修活動への意気込みをより強くしていました。

病院キャンパスで授与された学生





伊都キャンパスで授与された学生

【基幹教育奨励賞受賞者の学修活動（受賞者の学修計画書・報告書から一部概要）】

海外の学修活動

○短期留学、海外プログラム

- ・ CLP-K（韓国・延世大学校での韓国語研修）に参加。
- ・ 法学部の世界展開力強化事業に参加し、シンガポールとフィリピンを訪問。
- ・ AsTW（九州大学と ASEAN 加盟国の有力大学が共同で開催する、英語による ASEAN と東アジア、及びアジア言語文化を学ぶ短期留学プログラム）に参加し、ベトナム国家大学ハノイ校へ短期留学。
- ・ 「タイの言語と文化」を履修し、タイのマヒドン大学に2週間の短期留学。
- ・ ケンブリッジ大学英語・学術研修
- ・アントレプレナーシップ・米国セミナー（九大 QREC が実施するアントレプレナーシップと国際意識の涵養のためのプログラム）に参加。
- ・ SVEP（シリコンバレー英語研修プログラム）に参加し、英語研修、現地学生とのグループワーク、ホームステイ、シリコンバレーの企業見学。
- ・ ELEP（工学部の短期留学プログラム）に参加し、サンノゼ州立大学での英語研修、シリコンバレーにある大学や企業等の訪問、デザイン思考を学ぶワークショップ、ホームステイなどを行う。
- ・ Q²REC（工学部の短期留学プログラム）に参加し、オーストラリア・クイーンズランド大学の工学部及び語学学校に6週間留学。
- ・ ALEP（農学研究院の海外プログラム）に参加し、アメリカのUNSW大学に短期留学。

- ・ TOMODACHI-Microsoft iLAEP に参加（シアトルで3週間・日本で5ヶ月間を通して、ソーシャルイノベーションを学ぶプログラム）
- ・ イギリス、フィリピン、カナダ等の海外の語学学校で約1ヶ月の語学研修
- ・ カリフォルニア大学デービス校での1ヶ月の英語研修、異文化間の調査・プレゼン、ホームステイ。
- ・ アイスランドでの国際ボランティア
- ・ ossep（理学部の短期留学プログラム）に参加し、オレゴン州立大学に短期留学
- ・ オーストラリア・モナシュ大学英語研修に参加
- ・ フィンランドに3週間語学留学

○長期留学

- ・ シンガポール国立大学へ交換留学。物理学等の授業を英語で履修。
- ・ 北アリゾナ大学への1年間交換留学し機械工学を学ぶ。
- ・ オーストラリアのクイーンズランド大学に1年間交換留学

○海外訪問・国際会議参加など

- ・ タイで開催の国際学生シンポジウムに参加。国連が取り組む諸問題や将来のリーダーについて、国連職員や各国の学生を交えてディスカッションし、有意義なネットワーキングを行うことができた。
- ・ オランダの医療制度、安楽死、障害の学習のためオランダを訪問。
- ・ ベトナム訪問を自身で計画し実施。
- ・ worldship orchestra（海外ボランティア）に参加

国内の学修活動

- ・ 知的財産法に関する判例研究
- ・ 国内の家族に関する取組として、貧困問題に関する学習活動や学習支援ボランティアなどを実施。
- ・ 地域と学生の交流拠点として、元岡商工会と連携しているサークルの代表として、地域のお祭りをゼロから創り上げる。
- ・ 福岡県内高校の生物部の生徒対象のPBL合宿に参加。
- ・ 国立天文台のスプリングスクールに参加。
- ・ 専門分野の学習と平行して、医学研究院のヒトゲノム幹細胞医学分野において卵細胞の研究。
- ・ 医学書原著の通読により医学英語を身につける。
- ・ 農業等の実習やフィールドワークに参加
- ・ U I インターンや地域活性化に力を入れている企業のインターンシップに参加。
- ・ 建設会社のインターンシップに参加。
- ・ 東北支援団体 Project-架け橋によるボランティア活動への参加。
- ・ PLANET-Q（九大のロケット制作サークル）でロケットコンテストに向けた活動。ロケット打ち上げに成功。
- ・ 英語力向上のため TOEIC、TOEFL の学習・受験。
- ・ 中国語検定の学習・受験
- ・ 公認会計士取得に係る学習
- ・ 公務員講座の受講
- ・ 福岡県グローバル青年の翼 2019 に参加
- ・ 議員インターンシップに参加

- ・霞が関インターンシップに参加
- ・高額な専門書を購入でき、早期修了で大学院入試に合格
- ・司法予備試験を受験
- ・学術書、洋書の購入
- ・気象予報士及び防災士試験を受験
- ・天文学会への参加
- ・TOEIC、TOEFL、IELTS 受験
- ・飛び級試験に合格、4月から大学院生となる。

・受賞者から後輩へのメッセージ

- ・奨学金は海外に行くきっかけとして欲しい。九大には世界を知ることができるプログラムが多数存在します。多数の経験をする事で常に広い視野、高い目標をもちアクティブ・ラーナーとして日々の活動に取り組み、将来世界で活躍する人材になろうという心構えを持って欲しい。
- ・留学は下調べなどの準備は早めに。専門分野とは関係ない授業をとって専門分野に影響がでたらどうしようと悩まずに、取りたい講義を取ってください。自分のモチベーションになったり、思わぬところで役に立ったりします。
- ・基幹教育は社会人になる前に、自分が専門としていく道を社会の中で客観視し、意味づけを強く持つために必要な大切なことを学べる貴重な機会。自ら興味関心から問いを立てて真理を追求する「学問」へ移行するための学びの姿勢を身につける時期。たとえ興味が湧かなくても、一度基幹教育を熱心に取り組んでみてください。
- ・自分にできないことを決めつけ避けている人も多いのではないだろうか。自分はその一人であり、大学内での学習だけでは専攻科目を学ぶにつれて、なおさら視野が狭くなる一方だと感じていた。もしそのような自覚があれば、この機会に是非今まで経験したことのない物事にチャレンジして欲しい。
- ・本物のアクティブ・ラーナーはなりなさいと言われてなっているのではなく、自らの好奇心と探求心に純粋に従い、能動的に学問をやりたいという熱い思いを持つ人です。大学生という「好きなことを好きなだけ学んでも許される時間」を大切に、この大学生のうちに自分の人生を自分で満足させられるような学びの礎を築いてください。
- ・基幹教育奨励賞は自らが先駆けて活動したいという学生に対して「自信」と「きっかけ」を与えてくれるものです。自分がやりたいことに対してまっすぐ向き合ってもらいたい。「やりたいことが思いっきりできる」ことは学生の特権であり、失敗・成功を問わずその経験は皆さんの人生において大きな糧となる。経験から得た「知」を積極的に発信して欲しい。
- ・基幹教育奨励賞の奨学金は「ここに行きたい!」「これをやりたい!」と思ったときに生じるためらいを払拭してくれるものだと思います。やってみたいことができた時は、やらなくて後悔する前にどんどん行動に移してみてください。
- ・まずは基幹教育奨励賞を受賞してきた自分の頑張りを讃えてください! 高校までの勉強とは違った、大学の学びの中で、たゆまぬ努力を続けられるその姿勢は素晴らしいと思います。これからは自分がしたい勉強ができる時間が多くありますが、自分の興味関心の中で「貫く、尖る」ポイントを見つけてみてください。それがあなたの強みになります。基幹教育奨励賞を最大限活用して、自分の強みを見つけよう!
- ・基幹教育奨励賞のおかげで、以前から興味を持っていた留学の決断をすることが出来ました。ぜひ皆さんも、大学生のうちに自分が挑戦したいことや頑張りたいことに取り組みたいことに有効に利用して様々な経験を積んでく

ださい。

- ・とにかく新しい環境にどんどん飛び込むようにすること、できるだけ多くの人と交流を持つように努めることをお勧めします。
- ・基幹教育奨励賞を目指して勉学に励んでいれば、専門科目の学習で必要な基礎を固めることができ、充実した大学生活を送る上での道標になってくれます。
- ・これから先の自分の進路を決める試金石にぴったりな賞だと思います。今後携わりたい分野の“お試し”や海外に足を伸ばしてみるなど、様々なことを体験していただきたいです。
- ・失敗してもいいからチャレンジのために奨学金を利用してみてください。